

サタ☆くら通信

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち8人を対象に、ボランティアとして登録してくれた県立保健大学・弘前大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて、1対1で勉強を教えています。

■4月から新しい仲間が増えました。

4月に入り、学年が一つずつ上がりました。少し大人になった印象です。学習会の雰囲気も、だいぶ落ちついてきました。

小学校4年生の女子が新たに学習会に参加することになり、今年度は8人でのスタートです。また、4月に高校進学した男子も、自分の勉強の時間を確保するため、毎週参加しています。

4月5日の学習会終了後、学生・スタッフで、今年度の活動計画に関する打ち合わせを行いました。これまで学習会に参加してくれた学生が中心となって、県立保健大学に学生サークル「児童福祉研究会」が設立されたとの報告がありました。これも「サタ☆くら」活動の一つの成果だと思っています。

★平成25年度活動実績

・活動期間7/20-3/29	計	37回
・登録児童		7人
・登録ボランティア		16人
・収支の状況(単位:円)		
収入	89,500	支出 84,535
登録料	3,500	事務費 6,435
寄付金	86,000	交通費 74,800
		保険等 3,300

■皆様の御支援に感謝申し上げます。

3月1日には、弘前大学で青森家庭少年問題研修会の研修会が行われ、青森での「サタディ☆くらぶ」の活動を紹介させていただきました。

フロアからは、貧困の連鎖の防止の重要性のほか、子どもの家庭環境が少年事件や犯罪へ進展しないよう、一人ひとりの自立を支援するこのような活動を継続してほしいという意見が出されました。

昨年度の青森での活動の成果を受け、今後、弘前地区での活動を進めていきたいと考えています。



【サタ☆くら学生・スタッフ一同】

=====
青森家庭少年問題研究会では、学習支援に協力してくれる学生を募集しています。
=====

★学習支援の申し込み★

学習支援は随時受付しています。

- ・対象は小学生・中学生。
- ・申込のお問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会(電話017-735-4160)あて。
- ・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。
- ・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。